

たまち街角ニュース

令和5年夏季
増刊号
田町町内会

4年振りに田町大日堂祭典の開催

子供達を含め町民が4年振りに待ち望んだ大日堂祭典が7月8日(土)宵祭り、9日(日)本祭りが開催されました。土曜日には直前まで本格的な雨が降っていたのですが、2日間とも暑くもなく祭典には丁度良い気候に恵まれました。

秋山さんのガマの油口上は、3年間のブランクを感じさせない程のよどみない流れの中で行われ、東北学院大学の奇術研究会生は、コロナ禍による久しぶりの公演ということで緊張していたのですが、見事に奇術を披露していただきました。

今年は、子供会のアイデアで腕相撲大会ではなくて、女子でもタイミングさえよければ男子にも勝てる「押し相撲」が採用され、女子の健闘が目立ち、来年は男子も頑張ろう。

本祭りは、中国、韓国、ドイツ、フランス等国際色豊かな留学生7名を含む大人神輿・大うちわで30名、行灯・子供太鼓・旗持ち・子供神輿・小うちわで31名、稚児5名、先導・三方で3名の計69名で神輿行列を行い、久しぶりの開催ということで、互いに、“阿吽の呼吸”とはいかず、細かい所での伝達不十分が散見されましたが、無事に、皆様のご協力で祭典を終えることが出来ました。



再び 田町町内に七夕飾りを

昭和時代には、子供会を中心として、田町町内も、隣接する上染師町内も、連坊地区や荒町地区に負けないうりのアイデア豊かな七夕を飾っていました。しかし、マンションやアパートの立地増に伴い、徐々に減り続け、この20数年は、まったく見られませんが、相変わらぬ他地区の七夕飾りを見せつけられる度に、“再び、田町町内に七夕飾りを”という有志が、たけのこ会の協力を得て、挑戦することに決めました。7月末まで、荒町市民センター主催の講座に3名がお世話になり、先ずは、来年の仙台七夕期間中に、東一番町・第3地区(三越前通り)歩道アーケードに飾る小七夕に採用されるように頑張るつもりです。

